

# 4つの論理展開パターン

現代文を読み解くために、まず4つの基本的な論理展開パターンを覚えましょう。  
それぞれのパターンには固有の「記号」があり、文章構造を図解する際に役立ちます。



## ①イコール関係

同じ内容を別の言葉で言い換えたり、  
抽象的な概念を具体化したりする関係

同値 具体化



## ②対比・逆接関係

物事を比較したり、前の内容を  
否定・制限して新たな主張を導く関係

対比 逆接 譲歩



## ③因果関係

原因と結果のつながりを示す関係  
順序が入れ替わることもある

原因→結果 結果←原因



## ④追加並列関係

複数の情報や意見を対等に列挙する関係  
等価の要素を順に並べる

第一に また さらに

**この4つのパターンを組み合わせると複雑な文章も読み解けます！**

文章を読む際には、この4つの「つながり」を意識しながら読んでみましょう

# ①イコール関係（＝）の特徴

ある言葉を**同じ意味・レベル**で言い換えたり、**抽象→具体化**するパターンです。



**特徴：**同じ抽象度で言い換えただけの関係

自由 = 自分で選ぶこと

(意味レベルは同じで言い換えただけ)



**特徴：**抽象的な概念から具体例への関係

動物 = 犬、猫、うさぎ...

(抽象的なものを具体例で説明)

## 見つけ方のポイント

### キーワード

- すなわち
- つまり
- 言い換えれば
- たとえば

### 読解上の注意点

- 定義文によく使われる
- 括弧内の説明に注目
- 前後の文脈の関係を確認

イコール関係を見抜くことで、筆者の**重要な定義や説明**が理解できる！

## ② 対比・逆接関係 (↔) の特徴

主張を掴む上で**最重要な論理関係!**

### 対比関係 ↔

二つの異なる要素を並べて**比較**する関係

- 時間的対比：過去↔現在
- 空間的対比：都会↔田舎
- 概念的対比：伝統↔革新

### 逆接関係 ⊖

一度認めてから**反対意見**を述べる関係

- A**だが**B
- 確かにA、**しかし**B
- 一般的にはA、**だが**B

### ❗ 逆接の3パターン

#### 否定→主張

「AはXではない。Aは**Y**である」

#### 譲歩→逆接→主張

「確かにAはX。**しかし**、**Y**である」

#### 一般論→逆接→主張

「一般的にはX。**だが**、**Y**である」

### 💡 読解のポイント

逆接の後（しかし、だが、けれども）に**筆者の主張**が来ることが多い!

### ③ 因果関係（⇔）の特徴

原因と結果のつながりを示すパターンです。

「なぜ」「どうして」という理由と帰結の関係を表します。

因果関係には順序が2パターンあることに注意しましょう。

#### パターン① 原因→結果

原因が先に述べられ、結果が後に述べられるパターン（最も一般的）



「～だから」「～ため」「～ゆえに」「～によって」などの接続表現に注目

#### パターン② 結果←原因

結果が先に述べられ、原因が後から説明されるパターン（理由説明型）



「～なぜなら」「～というのは」「～からだ」などの表現に注目

**💡 記号の覚え方：** ⇔ は「行ったり来たり」のイメージで、因果関係が「原因→結果」「結果←原因」の両方向の順序で現れることを表しています

## ④追加並列関係（↳）の特徴

複数の情報や根拠、意見を**並べる**パターンです。

それぞれの項目が**同じ価値（等価）**として扱われるのが特徴です。

### 追加並列関係の基本構造



等価な複数の情報

↳ 一つ目の情報・意見・根拠

↳ 二つ目の情報・意見・根拠

↳ 三つ目の情報・意見・根拠

### 見分け方のポイント

- 「また」「さらに」「そして」などの接続詞
- 「第一に～」「第二に～」など順序を示す表現
- 箇条書きや列挙の形式になっている

### 追加並列関係の働き

- 主張を複数の視点から補強する
- 複数の具体例で説明を詳細にする
- 多面的な考え方を提示する

**追加並列関係は情報の積み重ねで  
筆者の主張をより強固にします！**